

授 業 科 目	装具学Ⅳ（上肢装具）		
教 育 内 容	専門分野	応用義肢装具学	
担 当 教 員	野原耕平、那須祐介（講義 28 時間，実習 84 時間）、田口真哉（手外科領域）、小森健司（脳卒中領域）		
学 年	3	単 位 数	3
開 講 時 期	前期 手外科領域，脳卒中領域は後期	時 間 数	講義 30 時間，実習 90 時間

■ 授 業 概 要

上肢装具を必要とする疾患や障害については、各学生が発表するセミナー形式により講義を進めていく。実習では、共通課題として対立装具（モールド型、ランチョ型）を製作し、上肢装具の目的、製作方法に対する知識と必要な基本的技術の習得を目指す。

■ 到 達 目 標

- 1) 上肢装具の構造、機能について理解する
- 2) 上肢装具を必要とする疾患、障害について理解する
- 3) 条件どおりに上肢装具を製作できる

■ 授 業 内 容

第 1,2 回	講義：オリエンテーション、上肢装具概論	実力テスト
第 3,4 回	実習：短対立装具Ⅰ・Ⅱ（採型）	
第 5-8 回	実習：短対立装具Ⅰ（陽性モデル作製、陽性モデル修正） 短対立装具Ⅱ（型紙作成）	小テスト①
第 9-12 回	実習：短対立装具Ⅰ（成形加工） 短対立装具Ⅱ（材料切り出し）	小テスト②
第 13,14 回	実習：短対立装具Ⅱ（金属曲げ加工）	小テスト③
第 15-18 回	実習：短対立装具Ⅰ（トリミング） 短対立装具Ⅱ（組み立て）	小テスト④
第 19-22 回	実習：短対立装具Ⅰ・Ⅱ（仕上げ）	小テスト⑤
第 23-26 回	実習：短対立装具Ⅰ・Ⅱ（評価） 長対立装具（材料切り出し、金属曲げ加工）	小テスト⑥
第 27,28 回	セミナー：①末梢神経損傷	小テスト⑦
第 29,30 回	実習：長対立装具（取り付け）	
第 31,32 回	セミナー：②腕神経叢損傷	小テスト⑧
第 33,34 回	実習：長対立装具（部品材料切り出し、金属曲げ加工）	
第 35,36 回	セミナー：③関節リウマチ	小テスト⑨
第 37,38 回	実習：長対立装具（部品取り付け）	
第 39,40 回	セミナー：④頸髄損傷	小テスト⑩
第 41,42 回	実習：長対立装具（部品材料切り出し、金属曲げ加工）	
第 43,44 回	セミナー：⑤上肢の骨折	小テスト⑪
第 45,46 回	実習：長対立装具（金属曲げ加工）	
第 47,48 回	セミナー：⑥代表的な拘縮・腱損傷	小テスト⑫
第 49,50 回	実習：長対立装具（部品取り付け）	

第 51-54 回	実習：長対立装具（仕上げ）	小テスト⑬
第 55,56 回	実習：長対立装具（評価）	小テスト⑭
第 57,58 回	スプリント製作Ⅰ（手外科領域）	
第 59,60 回	スプリント製作Ⅱ（脳卒中領域）	

■ 評価方法

本科目の評価は、「小テスト」、「セミナー発表」、「中間試験」、「最終試験」、「製作実習」の各項目での評価を総合して行う。セミナー発表に関しては、特段の事情がない限り、再発表、追発表を認めない。セミナー発表担当日に発表できない者に対しては、評価を行うことができないので、注意すること。

【評価配分】

小テスト	セミナー発表	中間試験	期末試験	製作実習	合計
10%	15%	25%	25%	25%	100%

■ 教科書

装具学 第4版、医歯薬出版
義肢装具のチェックポイント 第9版、医学書院
手のスプリントのすべて、三輪書店
手の運動を学ぶ、三輪書店

■ 留意事項・その他

本科目では、上肢の解剖、運動などの基礎知識については理解しているという前提で授業を進める。

<担当科目における教員の実務経験>

田 口 真 哉：外部講師。社会医療法人抱生会丸の内病院上肢外科センター リハビリテーション部 作業療法士
小 森 健 司：外部講師。社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院 リハビリテーション技術室 作業療法士